

2018年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年11月13日  
東

上場会社名 サカティンクス株式会社 上場取引所  
 コード番号 4633 URL <http://www.inx.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 森田 耕太郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 菅原 大輔 (TEL) 06-6447-5823  
 四半期報告書提出予定日 2018年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2018年12月期第3四半期の連結業績 (2018年1月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年12月期第3四半期	119,366	2.6	3,855	△41.7	5,163	△39.6	3,696	△41.6
2017年12月期第3四半期	116,323	3.2	6,607	△14.0	8,555	△6.9	6,331	3.1

(注) 包括利益 2018年12月期第3四半期 2,512百万円(△62.5%) 2017年12月期第3四半期 6,699百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年12月期第3四半期	63.30	—
2017年12月期第3四半期	107.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2018年12月期第3四半期	148,462	79,153	51.3	1,303.65
2017年12月期	145,489	78,766	52.0	1,295.39

(参考) 自己資本 2018年12月期第3四半期 76,132百万円 2017年12月期 75,650百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年12月期	—	14.00	—	16.00	30.00
2018年12月期	—	15.00	—	—	—
2018年12月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2018年12月期の連結業績予想 (2018年1月1日～2018年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	161,600	2.7	5,500	△35.8	7,300	△35.1	5,300	△36.8	90.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2018年12月期3Q	62,601,161株	2017年12月期	62,601,161株
2018年12月期3Q	4,201,943株	2017年12月期	4,201,482株
2018年12月期3Q	58,399,495株	2017年12月期3Q	58,821,432株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
 なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 四半期決算補足説明資料は、T D n e t で本日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
3. その他 .....	10
主要な設備の計画 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、通商問題の深刻化による影響などが懸念されるものの、米国は景気の拡大が続き、欧州も緩やかな景気の回復が続きました。アジアにおいては、中国で持ち直しの動きに足踏みがみられたものの、全体として回復基調が続きました。日本経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかな回復を続けているものの、海外経済の不確実性や相次ぐ自然災害の影響などが懸念される状況で推移しました。

このような状況の中で、当社グループはコア事業である印刷インキ事業において、アジアを中心とした各拠点での拡販に注力するとともに、環境に配慮した安全・省エネ志向製品や顧客ニーズに応じた地域密着型製品の開発、TPM活動の深化による生産性向上などに取り組みました。また、印刷インキ全般の主要原材料価格がグループ全体で高騰していることから、更なるコスト削減を推し進めるとともに、企業努力で吸収できる限界を超える部分については販売価格の改定を打ち出し、利益改善に向けて取り組みました。一方、機能性材料事業では、インクジェットインキをはじめとして、トナー、カラーフィルター用顔料分散液などの開発・拡販に取り組みました。

売上高は、円高による為替換算の影響を受けたものの、アジア及び北米でパッケージ関連の印刷インキの拡販が進み、機能性材料も堅調であったことなどから、1,193億6千6百万円（前年同期比2.6%増加）となりました。

利益面では、印刷インキ事業において、販売数量の増加が寄与したものの、原材料高が一段と進んだ一方で、販売価格の改定は遅れており効果が一部に留まったことなどから、営業利益は38億5千5百万円（前年同期比41.7%減少）、経常利益は51億6千3百万円（前年同期比39.6%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は36億9千6百万円（前年同期比41.6%減少）となりました。

(参考) USドルの期中平均為替レート

	第1四半期 連結会計期間	第2四半期 連結会計期間	第3四半期 連結会計期間	第3四半期 連結累計期間
2018年12月期	108.30 円	109.07 円	111.46 円	109.61 円
2017年12月期	113.64 円	111.09 円	111.03 円	111.92 円

(注) 第3四半期連結累計期間の期中平均為替レートは、1月～9月の単純平均レートを記載しております。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

(単位：百万円)

	売上高					営業利益又は営業損失(△)		
	前期	当期	増減額	増減率	(※)実質	前期	当期	増減額
印刷インキ・機材(日本)	40,638	40,189	△448	△1.1%	△1.1%	1,727	480	△1,247
印刷インキ(アジア)	22,260	23,814	1,554	7.0%	9.4%	1,789	1,103	△685
印刷インキ(北米)	32,490	33,549	1,058	3.3%	5.4%	1,326	954	△372
印刷インキ(欧州)	6,578	6,984	405	6.2%	1.9%	144	△420	△564
機能性材料	8,270	8,732	462	5.6%	4.8%	877	992	114
報告セグメント計	110,238	113,271	3,032	2.8%	3.6%	5,864	3,109	△2,754
その他	11,621	11,927	305	2.6%	2.6%	267	260	△7
調整額	△5,537	△5,832	△295	—	—	475	485	10
合計	116,323	119,366	3,042	2.6%	3.4%	6,607	3,855	△2,752

(※) 実質増減率：海外連結子会社の為替換算の影響を除いた増減率

### ①印刷インキ・機材（日本）

パッケージ関連では、グラビアインキは比較的堅調に推移したものの、フレキシインキは天候不順や自然災害などの影響を受けて前年同期を下回りました。印刷情報関連では、需要減の影響を受けて、新聞インキ、オフセットインキともに前年同期を下回りました。以上のことから、印刷インキ全体では前年同期を下回りました。機材につきましては、印刷製版用材料、印刷製版関連機器ともに低調であったことから、前年同期を下回りました。これらの結果、売上高は401億8千9百万円（前年同期比1.1%減少）となりました。

利益面では、印刷情報関連の印刷インキ及び機材販売が低調に推移したことに加え、パッケージ関連においては原材料高の影響を大きく受けた一方で、販売価格の改定が遅れたことなどから、営業利益は4億8千万円（前年同期比72.2%減少）となりました。

### ②印刷インキ（アジア）

主力であるパッケージ関連のグラビアインキは、インド、インドネシア、ベトナムを中心として好調に推移しました。印刷情報関連では、オフセットインキ及び新聞インキの拡販がインド、中国で順調に進みました。売上高は、円高による為替換算の影響を受けたものの、販売数量が増加したことなどから、238億1千4百万円（前年同期比7.0%増加）となりました。

利益面では、販売数量の増加が寄与したものの、昨年から続く原材料高が想定以上に進んだ一方で、競争の激化により販売価格の改定が遅れたことなどから、営業利益は11億3百万円（前年同期比38.3%減少）となりました。

### ③印刷インキ（北米）

主力のパッケージ関連では、需要増加を背景として、高機能インキの拡販に向けた取組みが奏功し、フレキシインキ、グラビアインキ及びメタルインキが全般的に好調に推移しました。印刷情報関連であるオフセットインキは、UVインキが堅調であったものの、市場縮小の影響を受けて、全体としては低調に推移しました。売上高は、円高による為替換算の影響を受けたものの、販売数量が順調に増加したことなどから、335億4千9百万円（前年同期比3.3%増加）となりました。

利益面では、販売数量の増加が寄与したものの、原材料高の影響や競争激化による利益率の低下などにより、営業利益は9億5千4百万円（前年同期比28.1%減少）となりました。

### ④印刷インキ（欧州）

パッケージ関連を中心として拡販に取り組んだ結果、徐々に販売が上向いてきました。売上高は、現地通貨高・円安による為替換算の影響を受けたことなどから、69億8千4百万円（前年同期比6.2%増加）となりました。

利益面では、原材料高が一段と進んだことや競争激化による利益率の低下に加え、販売価格の改定が遅れたことなどが響き、4億2千万円の営業損失（前年同期は1億4千4百万円の営業利益）となりました。

### ⑤機能性材料

インクジェットインキ及びカラーフィルター用顔料分散液は販売が比較的堅調に推移し、前年同期を上回りました。トナーは、販売が好調に推移し、前年同期を上回りました。これらの結果、売上高は87億3千2百万円（前年同期比5.6%増加）となりました。

利益面では、全般的な販売数量の増加が寄与したことなどから、営業利益は9億9千2百万円（前年同期比13.1%増加）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金、投資有価証券が減少したことに加え、円高による為替換算の影響を受けたものの、売上債権、たな卸資産及び有形固定資産が増加したことなどから、前連結会計年度末比29億7千2百万円(2.0%)増加の1,484億6千2百万円となりました。

負債は、未払法人税等が減少したものの、仕入債務や借入金が増加したことなどから、前連結会計年度末比25億8千5百万円(3.9%)増加の693億8百万円となりました。

純資産は、その他の包括利益累計額が減少したものの、利益剰余金が増加したことなどから、前連結会計年度末比3億8千7百万円(0.5%)増加の791億5千3百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績を踏まえて、2018年2月14日に公表しました通期の業績予想を修正いたしました。

売上高は、日本の印刷情報関連が低調である一方で、パッケージ関連はアジア、北米を中心に拡大が進む見込みであるものの、想定した水準には及ばず前回予想を下回る見込みであります。

営業利益は、原材料費をはじめとしたコストの抑制に取り組んでいるものの、想定を大幅に上回る原材料高が進む一方で、通期では販売価格の改定効果が一部に留まる見通しであることから、前回予想を下回る見込みです。

なお、前提条件として、海外連結子会社の収益・費用の為替換算にあたって影響を受けやすいUSドルにつきましては、1ドル当たり通期で110.00円(年間単純平均)としております。

2018年12月期 通期連結業績予想数値の修正(2018年1月1日～2018年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2018年2月14日)	164,500	7,500	9,500	6,600	113.01
今回修正予想(B)	161,600	5,500	7,300	5,300	90.75
増減額(B-A)	△2,900	△2,000	△2,200	△1,300	
増減率(%)	△1.8	△26.7	△23.2	△19.7	
(ご参考) 前期実績 (2017年12月期)	157,302	8,573	11,249	8,383	142.76

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,002	6,574
受取手形及び売掛金	45,098	46,089
商品及び製品	9,898	10,261
仕掛品	1,096	1,162
原材料及び貯蔵品	7,642	9,286
その他	2,856	3,385
貸倒引当金	△395	△376
流動資産合計	76,199	76,384
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,823	17,127
機械装置及び運搬具(純額)	9,472	10,628
土地	8,786	8,753
リース資産(純額)	619	756
建設仮勘定	918	1,572
その他(純額)	411	434
有形固定資産合計	37,032	39,273
無形固定資産	851	664
投資その他の資産		
投資有価証券	29,207	28,923
その他	2,662	3,668
貸倒引当金	△463	△451
投資その他の資産合計	31,405	32,139
固定資産合計	69,290	72,077
資産合計	145,489	148,462
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,332	17,711
電子記録債務	—	13,153
短期借入金	5,343	9,690
1年内返済予定の長期借入金	4,188	1,701
未払費用	3,623	3,130
未払法人税等	993	106
賞与引当金	647	1,229
その他	3,839	3,302
流動負債合計	47,968	50,026
固定負債		
長期借入金	6,157	6,719
退職給付に係る負債	5,026	4,920
資産除去債務	71	72
その他	7,499	7,569
固定負債合計	18,754	19,281
負債合計	66,723	69,308

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,472	7,472
資本剰余金	5,672	5,672
利益剰余金	65,638	67,434
自己株式	△4,046	△4,047
株主資本合計	74,737	76,532
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,957	4,339
繰延ヘッジ損益	2	△0
為替換算調整勘定	△2,611	△3,403
退職給付に係る調整累計額	△1,434	△1,335
その他の包括利益累計額合計	912	△400
非支配株主持分	3,116	3,021
純資産合計	78,766	79,153
負債純資産合計	145,489	148,462

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年1月1日 至2017年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年9月30日)
売上高	116,323	119,366
売上原価	88,693	94,519
売上総利益	27,629	24,847
販売費及び一般管理費	21,022	20,991
営業利益	6,607	3,855
営業外収益		
受取利息	51	44
受取配当金	164	259
持分法による投資利益	1,321	1,221
その他	682	351
営業外収益合計	2,219	1,876
営業外費用		
支払利息	190	193
為替差損	—	281
その他	81	93
営業外費用合計	271	568
経常利益	8,555	5,163
特別利益		
投資有価証券売却益	1,124	—
受取保険金	—	185
特別利益合計	1,124	185
特別損失		
災害による損失	174	—
有形固定資産除却損	70	56
工場移転費用	71	—
特別損失合計	316	56
税金等調整前四半期純利益	9,362	5,292
法人税、住民税及び事業税	2,624	1,389
法人税等調整額	21	28
法人税等合計	2,646	1,418
四半期純利益	6,716	3,874
非支配株主に帰属する四半期純利益	384	177
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,331	3,696

## (四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	6,716	3,874
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	417	△562
繰延ヘッジ損益	1	0
為替換算調整勘定	△576	△791
退職給付に係る調整額	100	92
持分法適用会社に対する持分相当額	39	△100
その他の包括利益合計	△17	△1,361
四半期包括利益	6,699	2,512
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,375	2,383
非支配株主に係る四半期包括利益	323	128

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

## (継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自2017年1月1日至2017年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	印刷 インキ ・機材 (日本)	印刷 インキ (アジア)	印刷 インキ (北米)	印刷 インキ (欧州)	機能性 材料	計				
売上高										
外部顧客への売上高	40,617	22,221	31,511	6,550	8,196	109,097	7,226	116,323	—	116,323
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21	38	979	28	73	1,141	4,395	5,537	△5,537	—
計	40,638	22,260	32,490	6,578	8,270	110,238	11,621	121,860	△5,537	116,323
セグメント利益	1,727	1,789	1,326	144	877	5,864	267	6,132	475	6,607

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、日本における化成事業、ディスプレイサービス事業及び色彩関連機器事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額475百万円には、セグメント間取引消去629百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△153百万円が含まれております。全社費用は、主に関係会社に対する役員提供費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2018年1月1日至2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	印刷 インキ ・機材 (日本)	印刷 インキ (アジア)	印刷 インキ (北米)	印刷 インキ (欧州)	機能性 材料	計				
売上高										
外部顧客への売上高	40,174	23,720	32,336	6,927	8,667	111,826	7,540	119,366	—	119,366
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15	94	1,212	56	65	1,444	4,387	5,832	△5,832	—
計	40,189	23,814	33,549	6,984	8,732	113,271	11,927	125,198	△5,832	119,366
セグメント利益又は 損失(△)	480	1,103	954	△420	992	3,109	260	3,370	485	3,855

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、日本における化成事業、ディスプレイサービス事業及び色彩関連機器事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額485百万円には、セグメント間取引消去640百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△155百万円が含まれております。全社費用は、主に関係会社に対する役員提供費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

## 3. その他

## 主要な設備の計画

2018年9月30日現在

会社名	事業所名 (所在地)	セグメントの名称	設備の内容	投資予定額		資金調達 方法	着手及び完了予定	
				総額	既支払額		着手	完了
INX International Ink Co.	ウエストシカゴ (ILLINOIS, U. S. A.)	印刷インキ (北米) 及び機能性材料	研究設備	千US\$ 6,500	千US\$ 2,618	自己資金 及び 借入金	2018年 4月	2018年 12月
MAOMING SAKATA INX CO., LTD.	茂名第二工場 (中国広東省)	印刷インキ (アジア)	製造設備	百万元 145	百万元 34	自己資金 及び 借入金	2018年 9月	2019年 9月

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. INX International Ink Co.における計画は、研究設備のため生産能力の増加はありません。

3. MAOMING SAKATA INX CO., LTD.における完成後の生産能力については合理的な算出が困難なため、記載を省略しております。